



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第354号 (2022年2月)



今学年最後の学期はコロナウィルス流行の第6波の訪れとともに始まりました。風邪を引きやすい季節ですから、換気や手洗い、十分な睡眠、バランスの良い食事などを心がけ、体調管理に努めましょう。3年生が登校するのはあとわずか。また、どの学年も春の新しいスタートの助走の大切な時期です。気を引き締めていきましょう。

年頭に当たって 令和4年3学期始業式



1月11日は3学期の始業式が行われ、野田亮校長先生が年頭の挨拶をされました。

1月5日から県内で出始めた感染者が急増していることをうけ、「2学期と同じく、学校を止めたくない。一人一人がリスクを下げる行動を着実にとってもらいたい。またお互いを思いやり、不用意に相手を傷つけないようにしてほしい」と述べられました。また3年生には「企業に入ってくると短い時間で人は評価されます。人の評価を取り返すのはとても大変です。時間もかかります。進路先で力を発揮できるよう、いいスタートが切れるよう、卒業までの限られた時間を準備の時としてほしい」と、2年生には「あと半年で進路が決まります。積極的に自分から動いてほしい」、そして1年生には「将来自分はどういう人になるのか、社会でどうやって生きていくのかを考えてほしい」と期待の言葉を述べられました。そして最後に、「時間は皆に平等に流れていく。自分のことをきちんと振り返り、目標を定めて頑張してほしい。頑張るためには健康でなければなりません。皆が健康に過ごし、頑張る3学期にしましょう」と全員に向けて力強く激励されました。

10年ぶりベスト8進出 ラグビー花園大会

第101回全国高校ラグビー大会は12月27日、大阪の花園ラグビー場で開幕しました。シード校の本校ラグビーフットボール部は2回戦からの出場で、12月30日(木)、1回戦の勝者 静岡聖光学院高校(静岡)と対戦。50対7で快勝し、3回戦に順調に駒を進めました。次の試合は元日に行われ、優勝候補の1つ國學院久我山高校(東京)と対戦し、見事14対5で競り勝って10大会ぶりの準々決勝進出を決めました。ベスト4をかけて対戦したのは3連覇を狙う桐蔭学園高校(神奈川)。3回戦で負傷した井上茉紗樹選手も投入して粘りましたが、0対26で完敗。残念ながら21大会ぶりのベスト4進出はなりませんでした。以下は選手諸君の大会を振り返っての言葉です。

「チームがよくまとまってくれて、花園で試合を重ねるたびに成長していくのが感じられて嬉しかったしありがたかったです。ずば抜けた選手がいないので、団結して戦わないといけませんが、相手がどんどん



強くなる中、一人一人が強気で戦っていました。最後の試合で1本も取れなかったのは悔しいし、悔いも残っていますが、みんなのおかげでベスト8まで行けました。学校の仲間が応援して、試合の後に連絡をくれて嬉しかったし励みになりました。(主将・永池海音さん・吹上中)」「佐賀でタックルをやりこんでいったのが2試合目に生かしました。(松元蓮真さん・三股中)」「3回戦で優勝候補の國學院久我山を破って、佐賀の意地を見せられたと思います。準々決勝は、0点は悔しいし焦ったけれど、最後まで自分たちのラグビーをしようと気持ちを貫き通しました。(川越大地さん・富島中)」「フォワードのモール(攻撃方法の一種)が全国に通用して嬉しかった。しかし準々決勝では相手の体が大きく低いタックルが不十分だった。目標はベスト4だったので、ベスト8だったのが悔しい。(鶴留渉英さん・甲南中)」「相手のディフェンスが面でそろっていて本当に強かった(古賀剛志さん・鳥栖中)」「ベスト8を決める試合で、1本目のトライが3年間練習してきたモールで決まり、チームに勢いがついた。(原口慎太郎さん・武雄北中)」「ベスト8をかけた試合で、ダメ押しのトライを取って、それでこちらの流れになりました。1トライ取り返されたときには空気が緊迫しましたが、リードを守りきるために、責めすぎず守りすぎず、タイムコントロールもして勝ちました。(木原勇輔さん・成章中)」「去年と違って最上級生になったので、1つ1つを丁寧に、と思ってやってきました。当たり前のことを当たり前にやると強くなると思います。(井上茉紗樹さん・大町ひじり学園)」「最後の試合では自分たちのやりたいことが全くやらせてもらえなかった。ずっと相手のペースで、自陣でプレーしている時間が長くて苦しかった。(田上晴登さん・宮崎東中)」「ベスト8がかかった試合では気持ちが入っていて疲れも痛みも気づきませんでした。試合が終わったとき泣いてしまいました。(中尾颯汰さん・北方中)」



涙が出るのは一生懸命やってきた証拠です。そんな涙が流せてよかったですね。ベスト8おめでとう！

キュポラ実習 機械科3年

12月9日、1月17日に機械科3年がキュポラ(溶解)実習を行いました。1400度という高熱で溶かした鉄は湯と呼ばれます。溶けてさらさらになった湯を砂の型に流し入れて製品を作りました。大変危険な作業であるため、普段にまして緊張して実習に臨んだ生徒諸君に担当した係と感想を尋ねました。



「玉銑です。作業をしている人の邪魔にならないように気を付けました。たくさん拾えました。(小松稜雅さん)」「温度係です。1300度から1400度になると作業が始まります。10回作業を繰り返すので、そのたびに温度を確認しました。普段経験できないことが経験できたこと、皆、怪我無くできたことがよかったです。(松元蓮真さん)」「重し係です。鑄込んだ後の枠型に重しを載せました。15キロあります。怪我をしないよう足元をよく見て、気を張ってやりました。(寺尾光翔さん)」「材料を投入する係をしました。コークスを6キロ、5キロ、6キロと交互に入れますが、量を間違えないように気を付けました。(中溝駿之祐さん)」「出銑・閉銑です。指示をされたらすぐに動けるよう準備していました。最初は怖かったけれど、やってみると楽しかったです。(野口輝晟さん)」「鑄込みを担当しました。1回、ちょっとこぼしてしまいました。あとは慎重にやっとうまくいきました。メインの作業を任せられて嬉しかったです。(小林聡太さん)」「メディア対応をしました。材料ややり方などについてはっきり伝えられました。

(西岡北翔さん)」「鑄込みです。一気に流さないと湯のおしが弱くなります。しっかり狙いを定めて入れるのが難しかったです。(面川直哉さん)」「鑄込みです。腰を低く落として、肘を太ももで支えて安定するようにしました。(田中晴也さん)」「玉銑です。数えきれないほどたくさん拾いました。(筒井大暉さん)」この実習では、校章文鎮、卓上万力の部品、朱肉台座部品、高輪築堤の線路を固定する器具のレプリカ、鑄造時に使用する重しを製作しました。卓上万力の部品は2年生の実習で使用される材料となります。

北海道修学旅行（2年）

2年生の修学旅行は冬休みの最後、コロナウィルス流行の第6波の訪れとほぼ同時の、まさにぎりぎりセーフのタイミングで実施されました。1月6日から9日までの3泊4日の日程で、初日に小樽を散策し、2日目、3日目は札幌にほど近いルスツリゾートスキー場でスキー研修を行いました。「ルスツ」とは漢字で書くと「留寿都」、アイヌ語で「ル・スツ」、「道が山の麓にある」という意味だそうです。バスの中ではガイドさんにアイヌの言葉をいろいろ教えてもらったのではないのでしょうか。始業式の日修学旅行のことを尋ねると、皆口々に「楽しかった」と嬉しそうに答えてくれました。



北海道「雪で車道の表面が見えなかった。」「雪、積もりすぎ。リアルで見るのは違う。」「雪がサラサラして握れなかった。」「『なまらめんこい』という言葉が覚えた。」「今まで見たことない広大な自然だった。」「夕方4時半でもう真っ暗だった。」「窓が二重だった。」「雪が積もらないように信号が縦になっていた。」「屋根の雪が外側に落ちないように山型でなくV字になっていた。」「小樽からルスツまでが佐賀の端から端までくらいだった。広い。」

スキー「調子の乗ったらコケるのでスピードを控えて出しすぎないようにしました。」「思いきってやったらうまくできた。」「インストラクターの話をよく聞いていたら上手くなりました。」「コツはスネに力を入れることです。」「止まれるようになったら上手く滑れるようになった。」「板をつけたらめっちゃ滑るのではくのも大変でした。坂を上ると後ろ向きに滑って上るのも大変。1日目はできなくて辛かったけれど、足を八の字になるよう気をつけたら2日目は滑れるようになって楽しかった。」「まっすぐ滑ったらブレーキがきかないので、八の字にして横に滑ると上手いきました。」「インストラクターの教え方が上手かった。」「1日目はスピードを出して突っ込んでいったけど、2日目は減速の仕方を覚えて上手く滑れた。」「最初は上手いかなかったけれど、インストラクターが個人指導してくれて上手くなった。」「体重移動が大切です。」「腰から回るのがコツ」。



食事・その他「ホテルで出たイクラが一番おいしかった。」「石狩鍋みたいな味噌汁がおいしかった。」「小樽でたこ焼きを食べた。」「海鮮食べ放題が一番良かったです。」「自由時間に札幌ラーメンを食べました。具が多かった。」「最終日の夕食のズワイガニとイクラの食べ放題がよかった。」「空港で食べた海鮮丼がおいしかった。」「バター飴をお土産に買いました。」「ホテルのベッドがデカかった。」



インターンシップ①（2年）

期末考査後の12月6日から8日までの3日間、2年生を対象にインターンシップが行われ、職場を体験しました。年末のお忙しい中、受け入れてくださった各企業では、売るための製品を作っている現場に立ち会い、作業を体験し、働く大変さを実感する貴重な機会となりました。3年生の就職活動が終わり、いよいよ2年生の番が回ってきます。こんな仕事をしたい、こんな雰囲気の会社で働きたい、真剣に働く人ってカッコいい、このような気持ちを大切に、目指す進路を見つけ、実現に向けて努力してください。報告書から感想を抜粋して掲載します。

■仕事をする前の「段取り」がとても大切だということがわかりました。段取りをするかしないかで、作業のしやすさが大きく変わりました。今後の生活でも「段取り」を大切にしていきたいなと思いました。(I 迫中一斗さん) ■インターンシップに行く前は、「仕事」に対しての考え方が浅かったです。実際に仕事をしてみて、いろいろな作業を一

人でやらないといけないし、わからなくても自分で対応しないといけないし、とても大変で難しいということを知りました。(I 小川颯介さん) ■事務室に入ったときに、「失敗は誰にでもあるは許されない」と書かれた紙が貼ってあって、すごく心に響きました。とても厳しい言葉に思えるけれど、仕事にとって一番重要な言葉だと思います。(I 江

口唯斗さん) ■昼食を食べた後の昼休みでも自分の席に戻り、自分の仕事をしている人がたくさんいて、仕事に対する責任感や1つの仕事をする事の重大さにも気づきました。(I 今泉弾さん) ●機械1つ1つの大きさや、工場で働く方々の緊張感に圧倒されてしまった。この経験を学校



生活でも活かし、社会で生きていく準備をしていきたいと思う。(K 藤澤悠貴さん) ●まずは朝早起きして、15分前ぐらいには会社に着しておくというこ

との大変さ、そして朝8時から正午まで、短い休憩を1つも入れずにぶっ続けでやった後、45分間の昼休みをしてまたぶっ続けで4時間仕事をする大変さを経験させてもらって、本当にきついなと感じました。長時間体を使い続けることに慣れていませんでした。高校生のうちにこのような体験ができて本当によかったです。(K 森口博貴さん) ●この3日間、社員さん達は常に電話や仕事のことについて話しておられて、すごく忙しいときにインターンシップに来たんだと思いました。ですが、社員さん達は自分たちにも気を配ってくださり、なるべく作業をしてもらおうと作業を見つけてくださったりして、すごくありがたいと思いました。(K 横田祥伍さん)

表彰

キ・M：機械科 K：機械システム科 テ・E：電気科 C：電子科
シ：電子情報科 I：情報システム科 ケ・A：建築科

◆令和3年度 第40回佐賀県選抜
高校ソフトテニスインドア選手権大会
3位 佐藤 新琉 (E2・三日月中)
高崎 幸樹 (K2・城東中)

◆第13回 九州地区高校生溶接技術競技会
団体の部 優勝 坂井 凌 (キ3-2・川副中)
本村 璃生 (キ3-2・芦刈中)
中島 三稀 (M2・三瀬中)

◆第46回 佐賀県高等学校生徒
バドミントン競技学年別大会
第1学年 3位 坂本 燎亮 (K1・七山中)
第2学年 2位 坂本 和輝 (C2・大和中)

個人の部 優秀賞 坂井 凌 (キ3-2・川副中)
" 本村 璃生 (キ3-2・芦刈中)
" 中島 三稀 (M2・三瀬中)

2 月 行 事 予 定

| 日 曜 | 行事予定 | 日 曜 | 行事予定 |
|------|---|------|---|
| 1 火 | 学年末考査(3年) インターンシップ説明会(1年) | 15 火 | 学年末考査(1、2年) |
| 2 水 | | 16 水 | スクールカウンセラー来校日 |
| 3 木 | 月曜校時  | 17 木 | |
| 4 金 | 工業基礎学力テスト | 18 金 | 卒業生と語る会(A1、2) |
| 5 土 | | 19 土 | |
| 6 日 | | 20 日 | |
| 7 月 | ①主権者教育②進路体験発表会③大掃除 | 21 月 | |
| 8 火 | 特別選抜のため自宅学習 | 22 火 | 薬物乱用防止講話(1年) |
| 9 水 | 学年末考査(1、2年) 2/15まで | 23 水 | 天皇誕生日 |
| 10 木 | 3年生を送る会 3年生最終登校日 | 24 木 | 3年登校日 |
| 11 金 | 建国記念日  | 25 金 | 3年登校日  |
| 12 土 | | 26 土 | |
| 13 日 | | 27 日 | |
| 14 月 | ↓ | 28 月 | 3年登校日 |

佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記 昔は「修学旅行列車」なるものがあり、座席のみの列車で旅行に行きました。夜になると、ゴザが配られ、通路と座席の間にしき、ごろりと横になって床の匂いを嗅ぎながら眠りました。当時は戦後間もないってほどでもないと思っていたのですが、今思えばそんな感じです。床を嫌って座席に座って寝る友達もいましたが、翌朝、後悔していました。唐津線の匂いがちょっとそれに似ています。 K